

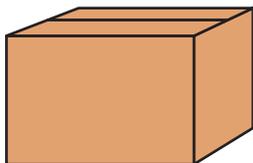
# 鬼のお面と金棒をつくろう！

むずかしさ★★☆☆☆

対象：小学校中学年～ | 所要時間：2時間



## 材料



段ボール箱120サイズ 1箱  
(大きめのミカン箱サイズ)



スポンジ 6個  
(4cm角程度にカットされたもの)



ボンド



両面テープ



セロハンテープ



型紙 (Webからダウンロード)



ガムテープ



輪ゴム 4本



絵の具、絵筆



マスキングテープ  
(仮留め用)

## つかう工具



カッター



カッティングマット



はさみ

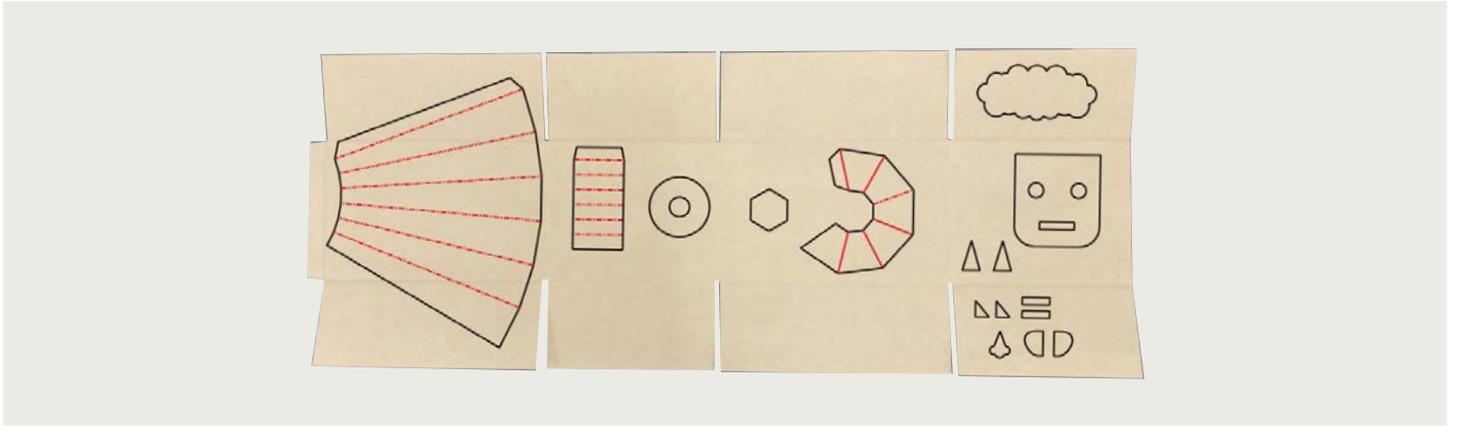


穴あけパンチ

# 最初に

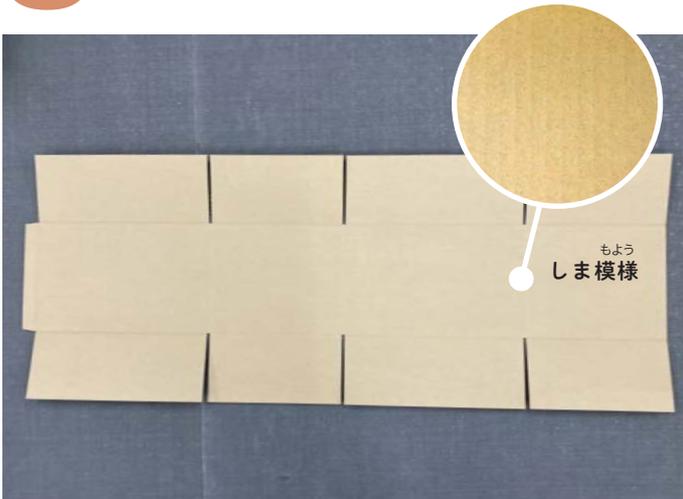
❗ カッターやはさみを使う時は、手を切らないように気をつけましょう ❗

写真のようにして段ボールを使用します。型紙を使う場所の参考にしてください。



## 鬼のお面の作り方

1 段ボールを開きます。



ポイント 段ボールにうっすら見えるしま模様がタテになるようにして置きます。

2 型紙を実線(一)で切り抜き、マスキングテープで仮留めします。



3 型紙に沿って段ボールを切り抜きます。



4 絵の具で好きな色に塗ります。



❗ 小さなお子さまと工作する場合、切り抜きはおとなの方が行ってください

5

ポンドで写真のように貼り付けます。



6

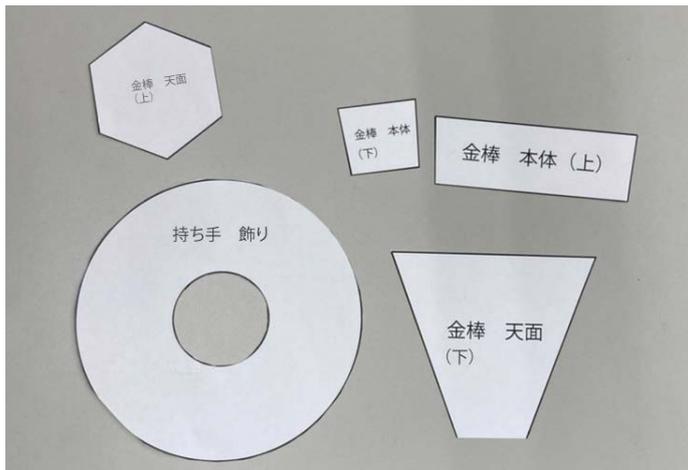
耳に穴あけパンチで穴を開け、輪ゴムを通したら完成!



## 金棒の作り方

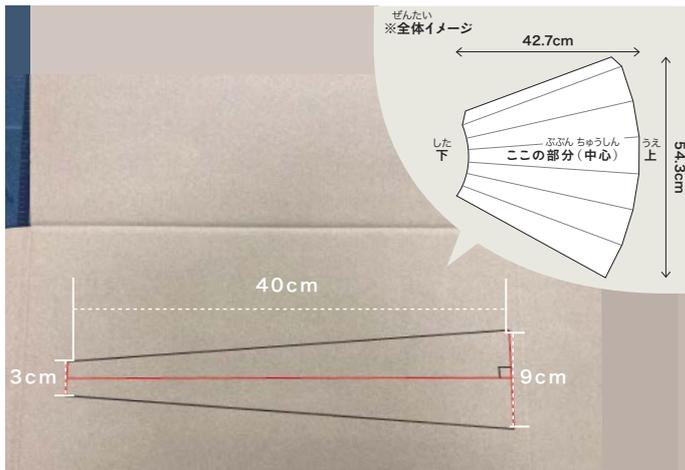
1

型紙を実線(一)で切り抜きます。



2

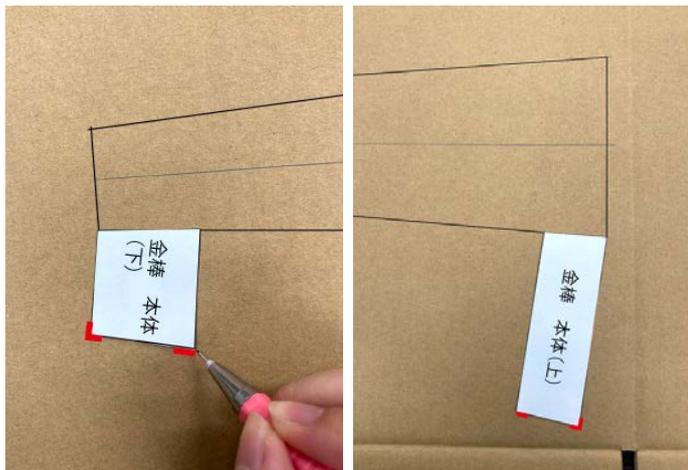
「金棒 本体」を作ります。まずは、写真の寸法の図を書きます。赤線の部分から書き、外側の線を繋ぎます。



ポイント 段ボールにうっすら見えるしま模様をタテになるようにして下絵をかきます

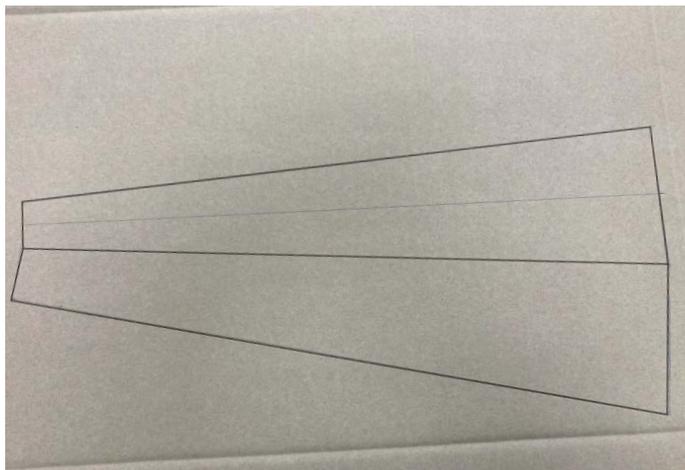
3

型紙を外側の斜線に沿わせ、角に印(写真赤色部分)をつけます。



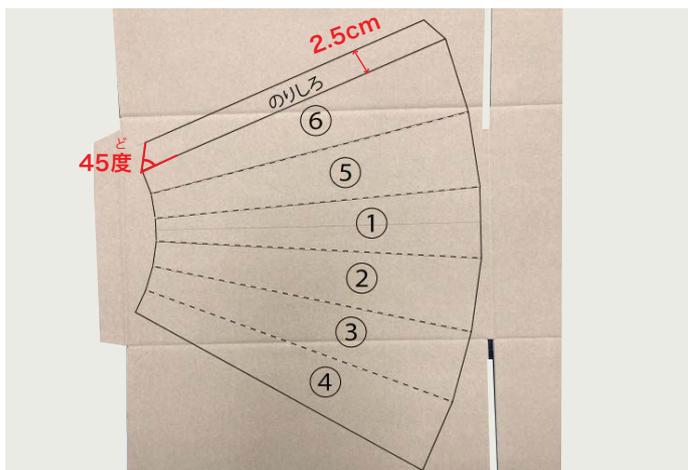
4

つけた印を線でつなぎます。台形が2つできました。



❗ カッターやはさみを使う時は、手を切らないように気をつけましょう ❗

5 2～3を繰り返して、番号順に台形6つを作り、のりしろをかきます。



ポイント 数字の順番で台形を増やします。のりしろの両端はななめにするのがポイントです。

7 「金棒 本体」ができました。



9 四隅を線をつないだら、型紙を外側の斜線に沿って置き、次の台形を全部で6つかきます。



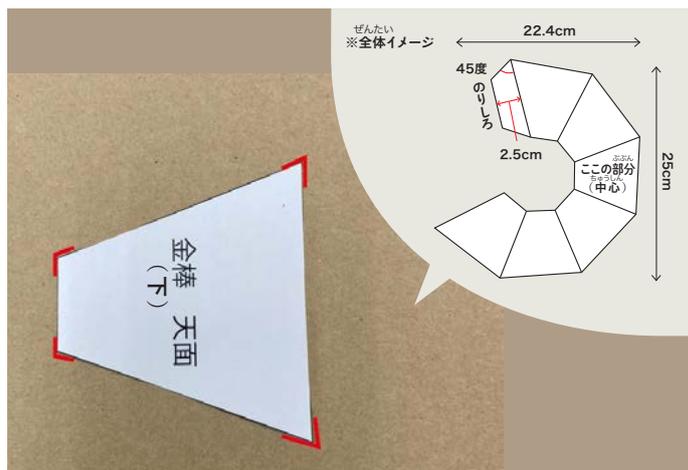
ポイント 台形をかく順番は「金棒 本体」と同じ

6 ⑤の実線(—)を段ボールから切り抜き、点線(……)をなぞって谷折りします。

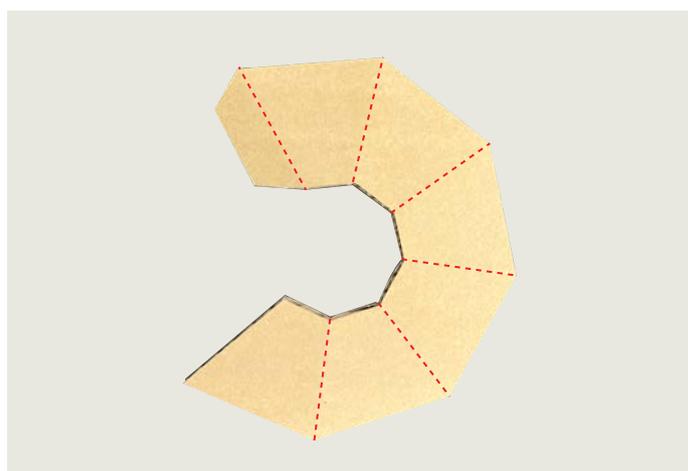


ポイント ものさしを当てて、刃のしまったカッターでなぞると折りやすくなります。

8 型紙「金棒 天面(下)」を使って四隅に印をつけます。

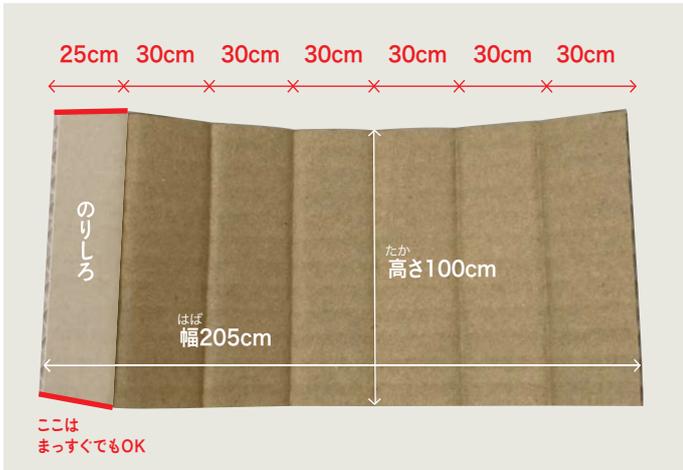


10 かけたら外枠を切り抜き、点線(……)を谷折りします。



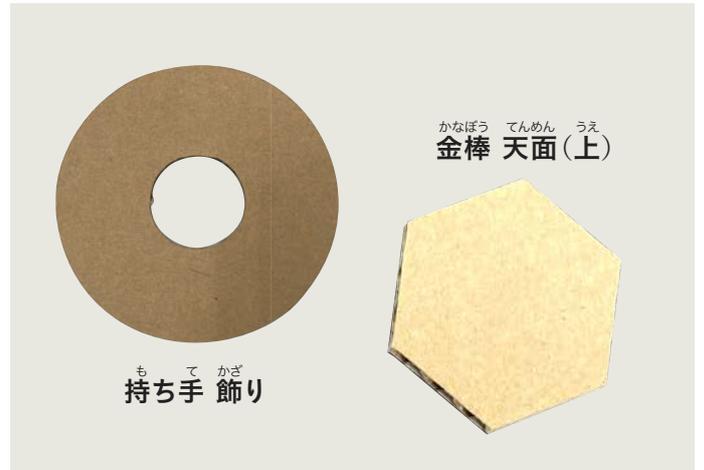
11

写真通りの寸法で「金棒 持ち手」を  
段ボールに下書きしカッターで  
外枠を切り抜きます。



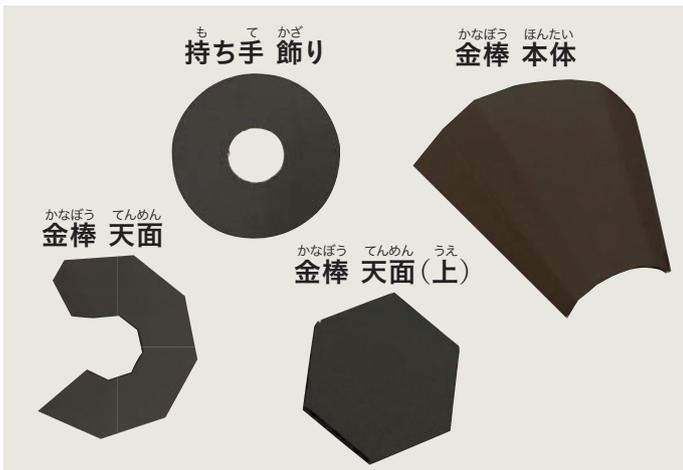
12

残りのパーツも型紙を使って  
切り抜きます。



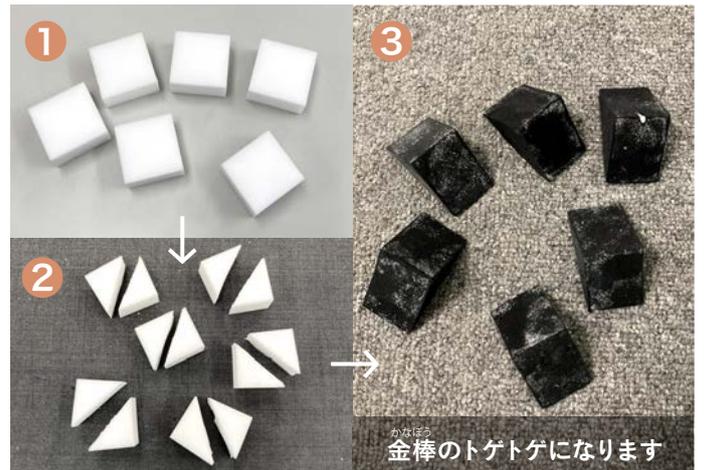
13

「金棒 本体」「金棒 天面」「持ち手 飾り」  
「金棒 天面(上)」に黒色を塗ります。



14

スポンジを三角形にカットして、  
黒色に塗ります。



ポイント ▶ スポンジの数は12個が目安です。

15

「金棒 本体」「金棒 持ち手」の  
のりしろをボンドでとめたら、  
ガムテープで2つをくっつけます。



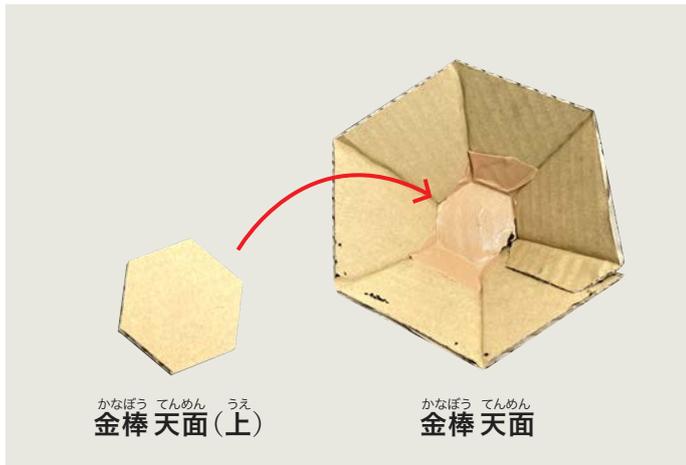
16

「金棒 持ち手」が完全に  
隠れるまでガムテープを巻きます。



17

「金棒 天面」ののりしろをボンドでとめ、乾いたら内側から「金棒 天面(上)」を差し込みガムテープで固定します。



18

「金棒 本体」と⑰をセロハンテープでくっつけます。



19

⑭のスポンジを写真のようにボンドで貼り付けます。



20

「持ち手 飾り」を「金棒 持ち手」の下に写真のように当て、「金棒 持ち手」が当たる場所に印をつけます。



※分かりやすいように色を塗る前の「持ち手 飾り」を使用しています。本来は黒く塗りつぶされています。

21

⑳でつけた印に切り込みを入れ「持ち手 飾り」を「金棒 持ち手」差し込みます。



完成

